

共同利用共同研究拠点研究集会『環境微生物学最前線』プログラム

場所: 北海道大学低温科学研究所研究棟2階講義室

司会: 嶋田敬三(首都大学東京)・福井 学(北大低温研)・小島久弥(北大低温研)

2016年2月19日(金)

9:00-9:05 趣旨説明(福井)

9:05-9:30 Mia Terashima (ILTS, HU) 「Flow cytometry as a method to sort microalgae and bacteria based on intracellular energy reserves」

9:30-9:50 程木義邦(京大大学生態研センター)「淡水産シアノバクテリアの地理的分布を決定している要因」

9:50-10:10 岡田久子(明治大学農学部)「多摩川の地質特性とそこに分布する糸状緑藻」

10:10-10:30 花田智(首都大学東京Photomic)「IFO寄附講座・光合成複合研究室の開設趣旨と研究課題」

10:30-11:00 中川麻悠子(東京工業大学ELSI)「微生物生態系における炭素同位体比解析の今までとこれから」

11:00-11:30 岩田智也(山梨大学)「湖における好氣的メタン生成プロセス」

11:30-11:50 伊藤雅之(京都大学東南アジア研究所)「亜熱帯ダム湖の冬季鉛直混合の年々変動がメタン動態に及ぼす影響」

11:50-12:10 小林由紀(総合地球環境学研究所)「翡翠水庫(台湾)におけるメタン酸化細菌の鉛直的および季節的変動」

12:10-13:00 [昼食]

13:00-13:30 押木守(長岡工業高等専門学校)「窒素循環を機能遺伝子から眺める ～アプローチと解析例～」

13:30-14:00 東岡由里子(高知工業高等専門学校)「炭化水素培養系における培地固化材の検討」

14:00-14:20 久保響子(鶴岡工業高等専門学校)「物部川および赤川河口堆積物における新規炭化水素分解硫酸還元菌の探索および培養」

14:20-14:40 田淵敬一(大阪府庁)「閉鎖性海域における水環境保全の課題(特に気候変動の影響の検討)と微生物学的なアプローチの可能性」

14:40-15:00 [休憩]

15:00-15:20 中川達功(日本大学生物資源学部)「アマモ群落の泥に生息する脱窒菌による温室効果ガス N_2O の削減」

15:20-15:50 片野俊也(東京海洋大学)「沿岸海域における *Skeletonema* 属珪藻の分布と動態: 現在の理解とこれからの課題」

15:50-16:20 大石和恵(東京工芸大学)『共生細菌を有する深海性二枚貝 *Calyptogena okutani* の人工化学合成水槽での長期飼育における共生細菌と硫黄顆粒の量的変化』

16:20-17:00 丸山正(JAMSTEC)「深海好圧菌は生息環境の高圧をストレスと感じているか？」

17:00-17:30 [総合討論] 嶋田敬三(首都大学東京)

18:30- 懇親会

問合せ先: 福井 学(北海道大学低温科学研究所)

my-fukui@pop.lowtem.hokudai.ac.jp